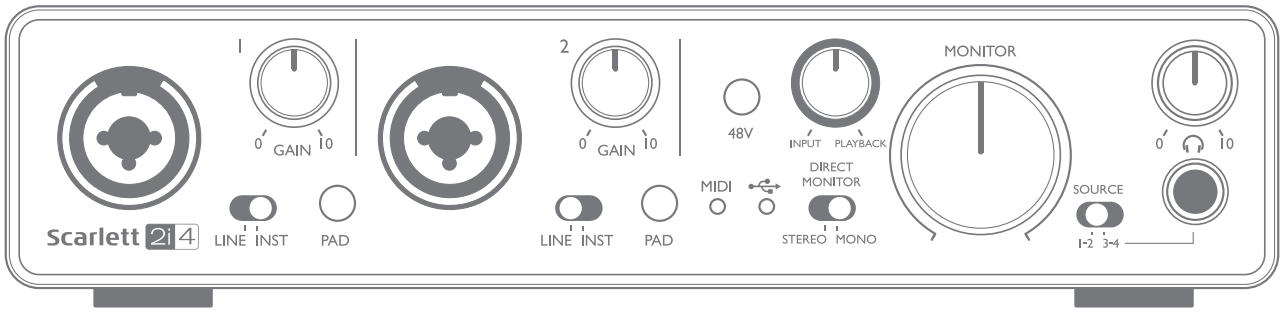
Scarlett 2i4

ユーザーガイド



Focusrite®

www.focusrite.com

FFFA001395-01

目次

概要 3

はじめに 3

特徴 3

同梱物 4

システム要件 4

Mac OS 4

Windows 4

さあ、始めましょう 5

ソフトウェアのインストール 5

Mac OS 6

Windows 6

Scarlett 2i4 を接続する 7

DAWでのオーディオセットアップ 7

使用例 9

マイクや楽器の接続 9

ダイレクトモニタリング 10

Scarlett 2i4 をラウドスピーカーに接続する 10

Scarlett 2i4 をDJミキサーに接続する 12

各部の名称と特徴 13

フロントパネル 13

リアパネル 14

仕様 15

性能仕様 15

物理的特性と電気的特性 16

トラブルシューティング 16

著作権表示と法定通知 16

概要

はじめに

第 2 世代の Scarlett 2i4 を購入いただきありがとうございます。 本製品は、Focusrite プロフェッショナル用オーディオインターフェイスシリーズの 1 つで、 高品質 Focusrite アナログプリアンプが搭載されています。 高品質オーディオをお使いのコンピュータへルーティングするシンプルでコンパクトなソリューションをご使用頂けます。

Scarlett インターフェイスの第二世代シリーズの開発に際しては、 パフォーマンスと機能セットの両方が強化されました。 最大 192kHzのサンプルレートに対応するほか、 低ノイズ化やゲインの大幅な増加など様々な改善によりマイクプリアンプの性能が向上しました。 ヘッドルームが追加されてインストゥルメント入力がアップグレードし、 大きなレベルのギターのパートもクリッピングせずに録音することができます。 Mac とはクラスコンプライアントなので、 接続すればすぐにお使い頂けます。 そのため、 Mac ユーザーの方はドライバーをインストールする必要がありません。 また、 購入された製品を登録すると、 エキサイティングな新しいソフトウェアプラグインをダウンロードすることも可能です。

このユーザガイドでは、 本製品の操作上の機能を十分理解していただくためにハードウェアの詳細を説明しています。 弊社では、 コンピュータベースのレコーディングが初めてのユーザーの方、 既に経験のあるユーザーの方に関わらず、 全ての方にユーザーガイドを読み通して頂くことを推奨しています。 そうすることで、 Scarlett 2i4 および付属ソフトウェアの機能すべてを完全に把握して頂けます。メインのユーザーガイドのセクションに必要な情報が記載されていない場合は、 必ずhttps://support.focusrite.com/をご覧ください。 本サイトには、 広範囲にわたる一般的なサポート問い合わせ内容が掲載されています。

特徴

Scarlett 2i4 インターフェイスでは、マイク、楽器またはラインレベルのオーディオ信号をMac OSや Windows コンピューターに接続することができます。接続された信号は、お使いのオーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイド全体を通して「DAW」と称します）へ最大 24 ビット、 192kHzの解像度でルーティングすることができます。 同様に、 DAW のモニターもしくはレコーディングされた出力は、 本製品の出力部へ送られます。

入力部に接続されたマイクや楽器などの音源を DAW 上でレコーディングすることができ、 DAW から出力部にルーティングが行えます。 2i4 には、4 つのオーディオ出力チャンネルが搭載されており、アンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、 DJ ミキサーやその他のタイプのアナログミキサー、 またはアナログオーディオ機器に接続することができます。 Scarlett 2i4 上のすべての入出力は、 レコーディングや再生の際直接 DAW との間でルーティングされますが、 ユーザーのニーズに合わせて DAW 内部でルーティングを構成することも可能です。 ダイレクトモニタリング機能を使用することで、 コンピュータのレイテンシーの影響を受けることなく演奏中の音源をモニターすることができます。 また、 2i4 はお使いのコンピュータと MIDI 機器を接続する際の便利な MIDI インターフェースとしても機能します。

DJ での使用目的として、 4 つのアナログ出力が用意されています。 ラップトップ上でミキシングを行う際にこの出力を使用することで、 ステレオのマスター出力やヘッドフォンキューチャンネルを使用できるようになります。 あるいは、 アナログの DJ ミキサーに個別に 2 つのステレオ出力を送ることができます。

同梱物

Scarlett 2i4 本体に付属するもの：

- 以下のオンラインリソースにアクセスするためのバンドルコード*：
  - Windows用 2i4 USB ドライバ
  - Focusrite Red 2 & 3 プラグインスイート
  - Softube Time and Tone バンドル
  - Pro Tools | First
  - Ableton Live Lite
  - LoopMasters サンプルライブラリ
  - Novation Bass station
  - 多言語対応ユーザーガイド
- USB ケーブル
- Getting Started Guide および重要な安全情報*

* ギフトボックス内側に記載された情報

システム要件

Mac OS

USB 2.0 または 3.0 対応の USB ポートが搭載された Apple Macintosh

OS：Mac OS X 10.10（Yosemite）またはOS X 10.11（El Capitan）

Windows

USB 2.0 または 3.0 対応 USB ポートを搭載した Windows コンピュータ

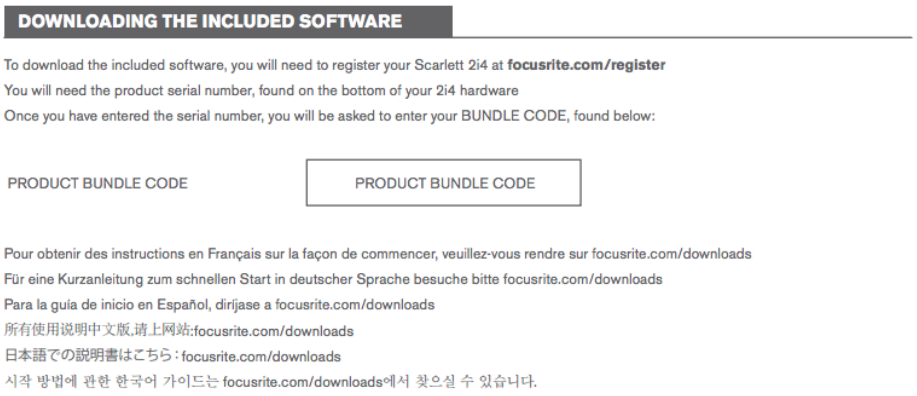
OS：Windows 7（32 または 64 ビット）、8.1 および 10

さあ、始めましょう

> **重要：**Windows ユーザー - お使いのコンピュータに Scarlett 2i4 を接続する前にインストーラを実行するようにしてください。
>
> 第 2 世代 Scarlett 2i4 は Mac の標準ドライバ（クラスコンプライアント）で動作します。そのため、ドライバのインストールは不要です。

ソフトウェアのインストール

Scarlett 2i4 に必要なすべてのソフトウェアおよび複数の強力かつ便利な追加ツールは、Focusrite ウェブサイトwww.focusrite.com/registerからダウンロードできます。「バンドルコード」はお使いの Scarlett 2i4 に付属のギフトボックス内に記載されています。また、シリアル番号は本製品の下側に記載されています。これらの情報は、ウェブサイトのダウンロードリソースにアクセスする際に必要となります。本手順に従うことで、最新バージョンのソフトウェアを入手することが可能です。



DOWNLOADING THE INCLUDED SOFTWARE

To download the included software, you will need to register your Scarlett 2i4 at **focusrite.com/register**
You will need the product serial number, found on the bottom of your 2i4 hardware
Once you have entered the serial number, you will be asked to enter your BUNDLE CODE, found below:

PRODUCT BUNDLE CODE | PRODUCT BUNDLE CODE

Pour obtenir des instructions en Français sur la façon de commencer, veuillez-vous rendre sur focusrite.com/downloads
Für eine Kurzanleitung zum schnellen Start in deutscher Sprache besuche bitte focusrite.com/downloads
Para la guía de inicio en Español, diríjase a focusrite.com/downloads
所有使用说明中文版,请上网站:focusrite.com/downloads
日本語での説明書はこちら：focusrite.com/downloads
시작 방법에 관한 한국어 가이드는 focusrite.com/downloads에서 찾으실 수 있습니다.

1. お使いのブラウザで、http://www.focusrite.com/register/にアクセスします。

2. 画面上の指示に従ってシリアル番号を入力し、次に、バンドルコード（XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX）を入力します。バンドルコードはギフトボックス内側に記載されています。

3.すると「My Product」ページにアクセスできるようになるので、こちらで登録した製品のソフトウェア製品をダウンロードが可能です。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。

4.Scarlett 2i4 ドライバーをダウンロードしてインストールします（Windowsのみ）。画面上のすべての指示に従います。

5. インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。

6.再起動後、付属の USB ケーブルで Scarlett 2i4 をお使いのコンピュータに接続します。

本ガイドには、2016 年 5 月時点での正確な情報が記載されています。ただし、弊社はカスタマーサービスの向上に常に取り組んでいるため、この手順は変更されることがあります。内容に変更があると思われる場合は、www.focusrite.com/get-startedで最新の情報をご確認ください。

Mac OS:

お使いの OS は、コンピュータのオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett 2i4 に切り替えます。これを確認するには、**[システム環境設定] → [サウンド]** に移動し、入出力が **[Scarlett 2i4]** に設定されていることを確認します。Mac のセットアップオプション詳細については、**[アプリケーション] → [ユーティリティ] → [AUDIO MIDI設定]** の順に表示させて、参照してください。

Windows:

お使いの OS は、コンピュータのオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett 2i4 に切り替えます。これを確認するには、**[スタート] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [サウンド] → [オーディオデバイスの管理]** に移動して、**[再生]** および **[録音]** が **[Scarlett 2i4]** に設定されていることを確認します。

Scarlett 2i4 を接続する

> **重要 - Windows：**Scarlett 2i4 をお使いのコンピュータに接続する前に、上記の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。これにより、ハードウェアが正しいドライバを使用し、予期せぬ動作を防止することができます。

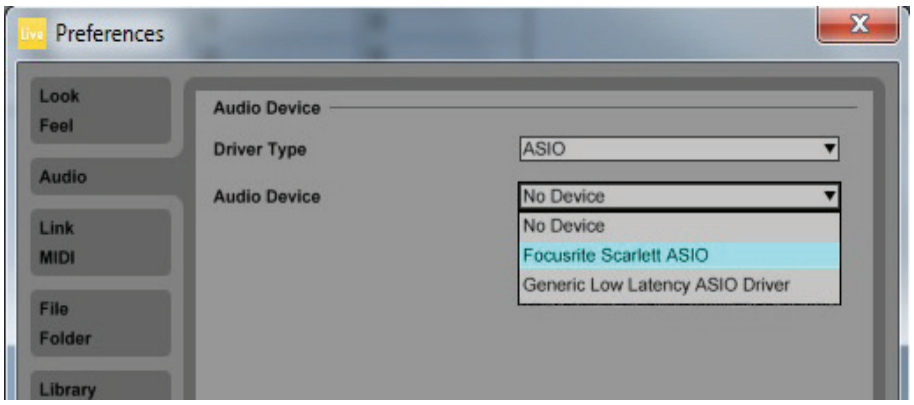
Scarlett 2i4 には USB 2.0 ポートが（リアパネル上に）備わっています。ソフトウェアのインストール（必要な場合）が完了したら、付属の USB ケーブルでお使いのコンピュータに Scarlett 2i4 に接続するだけです。Scarlett 2i4 は USB 2.0 デバイスに対応しています。USB を接続するには、USB 2.0 以上のポートがコンピュータになければなりませんのでご注意ください。USB 1.0/1.1 ポートでは正しく動作しません。

DAWでのオーディオセットアップ

Scarlett 2i4 は、ASIO または WDM 対応のすべての Windows ベースの DAW および Core Audio を使用するすべての Mac ベースの DAW と互換性があります。ドライバのインストール（Windows のみ）が完了し、ハードウェアを接続したら、お好きな DAW で Scarlett 2i4 を使用し始めることができます。DAW アプリケーションがお使いのコンピュータにインストールされていない場合でも本製品を使用できるように、Pro Tools および First and Ableton Live Lite が付属しています。これらのソフトウェアは、オンラインでダウンロードしてアクティベートすることで、利用できるようになります。いずれかの DAW をインストールするには、ページ 5 に説明されるように登録済みの Focusrite の「My Product」から適切なインストーラファイルをダウンロードして保存し、画面上の指示に従って実行します。

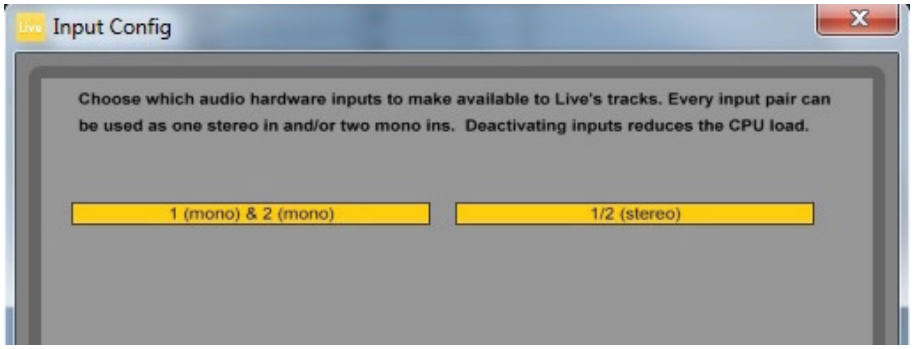
Pro Tools | First および Ableton Live Lite の操作説明は、本ユーザーガイドには記載されていませんが、それぞれのアプリケーションには、完全なヘルプファイル一式が含まれています。また、その他のリソース（Ableton Live Lite を開始するためのビデオチュートリアルを含む）はwww.focusrite.com/getting-startedからアクセスできます。

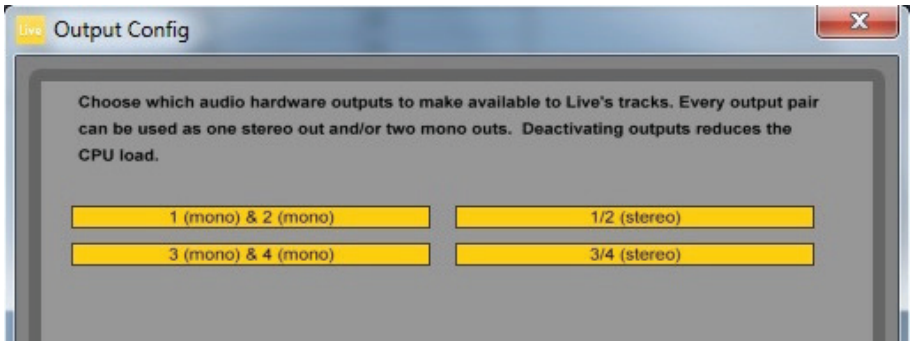
注意：デフォルトの I/O デバイスとして Scarlett 2i4 を自動的に選択しない場合があります。その場合、お使いの DAW の**オーディオ環境設定***ページでドライバーとして**「Scarlett 2i4」**を手動で選択する必要があります。ASIO または Core Audio ドライバを選択する場所がわからない場合は、お使いの DAW のドキュメンテーション（またはヘルプファイル）を参照してください。以下の例では、Ableton Live Lite の**【環境設定】**パネル（Windows バージョンの場合）が表示されています。



*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

Scarlett 2i4 がお使いの DAW でのオーディオデバイス*として設定されると、Input 1 と 2 および Output 1 〜 4 が DAW の環境設定のオーディオ入出力に表示されます。お使いの DAW によっては、使用する前に特定の入力または出力を有効にする必要があります。以下の 2 つの例では、Input 1 と 2 およびOutput 1 〜 4 が Ableton Lite のオーディオ環境設定で有効になっていることを示しています。



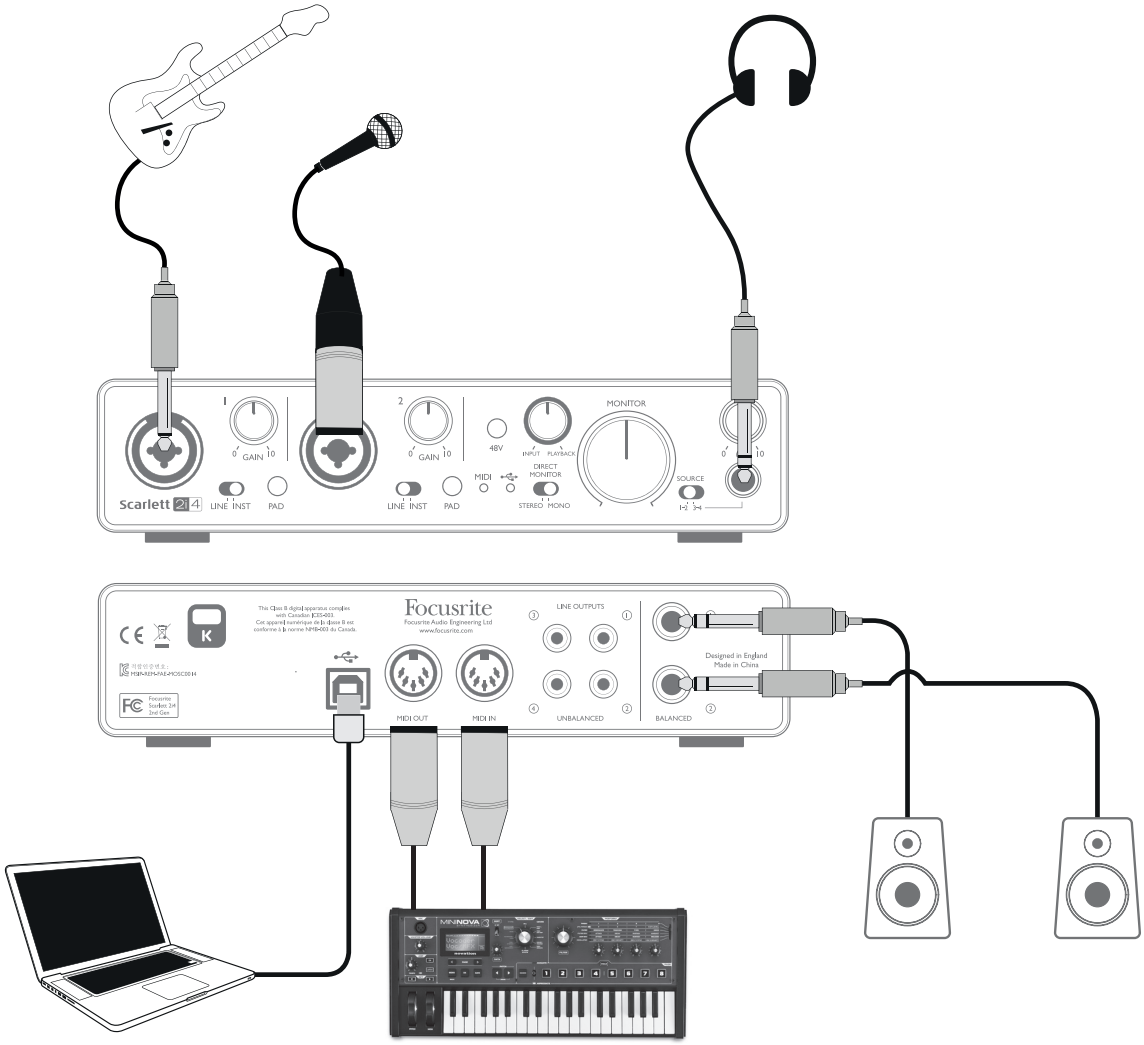


*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

使用例

Scarlett 2i4 では、様々なレコーディングやモニタリングを行えます。 一般的な構成例をいくつか以下に示します。

マイクや楽器の接続



このセットアップでは、Mac または Windows 上の DAW ソフトウェアでレコーディングを行う際の最も一般的な構成を示しています。 この場合、ヘッドフォンまたはラウドスピーカーで DAW からの再生をモニタリングしながら、Input 1 からギターを、Input 2 からはボーカルを Ableton Live Lite にレコーディングすることが可能です。

フロントパネルの入力端子は XLR コンボタイプで、XLR オスコネクタ（マイクケーブルの端に付いています）または¼インチ（6.35mm）ジャックプラグのどちらかを使用できます。 注意：Scarlett 2i4 には「マイク/ライン」スイッチが備わっていません。 Focusrite のプリアンプステージは、XLR を入力端子に接続すると自動的にマイク用に、またジャックプラグに接続すると自動的にラインまたは楽器用に構成されます。 通常の 2 極のギタージャックで楽器（ギターなど）を接続する場合は、ソケットの隣にある **LINE/INST** スイッチを**INST**に設定し、3 極（TRS）ジャックで外部オーディオミキサーのバランス出力などのラインレベルソースを接続している場合は **LINE** に設定します。 注意：コンボコネクタは両タイプのジャックプラグに対応しています。

コンデンサーマイクを使用している場合は、**48V** ボタンを押して、ファンタム電源をマイクに供給します。これは、別のタイプのマイクを使用している場合には、オンにしないでください。

Scarlett 2i4 のフロントパネルには、各チャンネルに **PAD** ボタンが搭載されています。これを押すことで、入力感度が10dB下がります。ラインレベルのソースから入力を供給している際に出力が大きすぎる場合、役に立つ可能性があります。

ダイレクトモニタリング

デジタルオーディオに関する話の中で「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあります。 上記のような DAW レコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーとは、お使いのコンピュータおよびオーディオソフトウェアを入力信号が通過し、オーディオインターフェース経由で再度戻ってくるまでにかかる時間です。レイテンシーは、入モニタリングしながらレコーディングを行いたい場合に障害となることがあります。

Scarlett 214 にはこの問題に対処するための「ダイレクトモニタリング」オプションが搭載されています。 フロントパネルで **DIRECT MONITOR** スイッチを **INPUT** に設定すると、入力信号が Scarlett 214 のヘッドフォンおよびメインモニター出力に直接ルーティングされます。これにより、コンピュータで再生される音と共に、ゼロレイテンシーで（つまりリアルタイムに）ご自身の音声を聞くことができます。 お使いのコンピュータへの入力信号に影響が生じることはありません。

DIRECT MONITORはミックスコントロールなので、入力信号および DAW からの再生をお好みのバランスに調整することができます。 時計回りに回転させることで、DAW の再生レベルが上がり、入力信号のレベルが下がります。 12 時の位置では、2 つのミックスがちょうど 50/50 の状態になります。

注意:**DIRECT MONITOR** コントロールが左に振り切られている場合以外は、お使いの DAW ソフトウェアが、入力（現在レコーディング中のもの）を出力へルーティングしないように設定されます。 設定されている場合、一つの信号がエコーとして可聴的に遅延するため、音声が 2 回聞こえてしまいます。

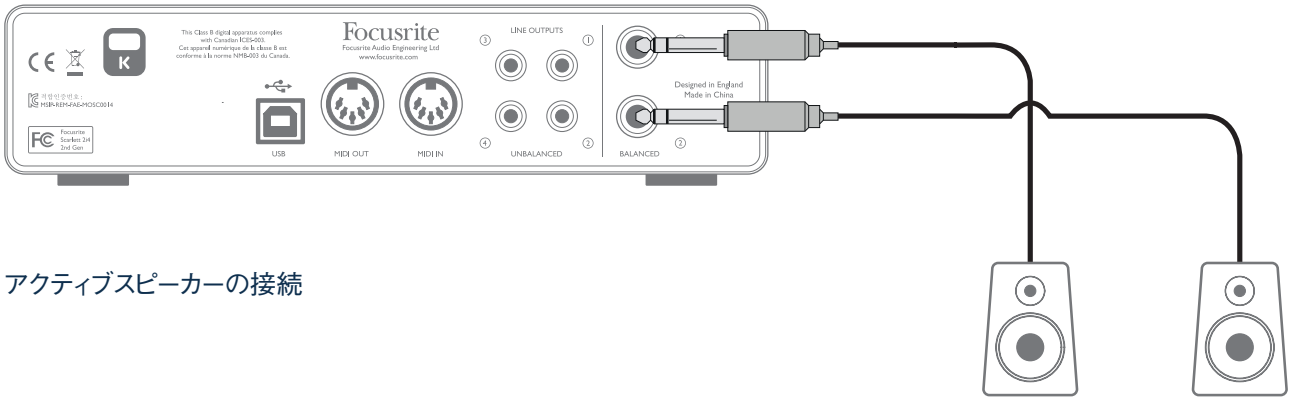
また、単一の楽器または音声のみをレコーディングしている場合にはダイレクトモニタリング機能をモノラル操作に切り替えると便利です。**STEREO/MONO** スイッチを **STEREO** に切り替えると、Input 1 が左の入力チャンネルに、Input 2 が右の入力チャンネルにルーティングされます。ステレオ音源をレコーディングしている場合に適切な設定となります。**MONO** モードでは、両方の入力が均等に両方のチャンネルにルーティングされ、ステレオイメージの中心に音像が再現されます。

Scarlett 2i4 をラウドスピーカーに接続する

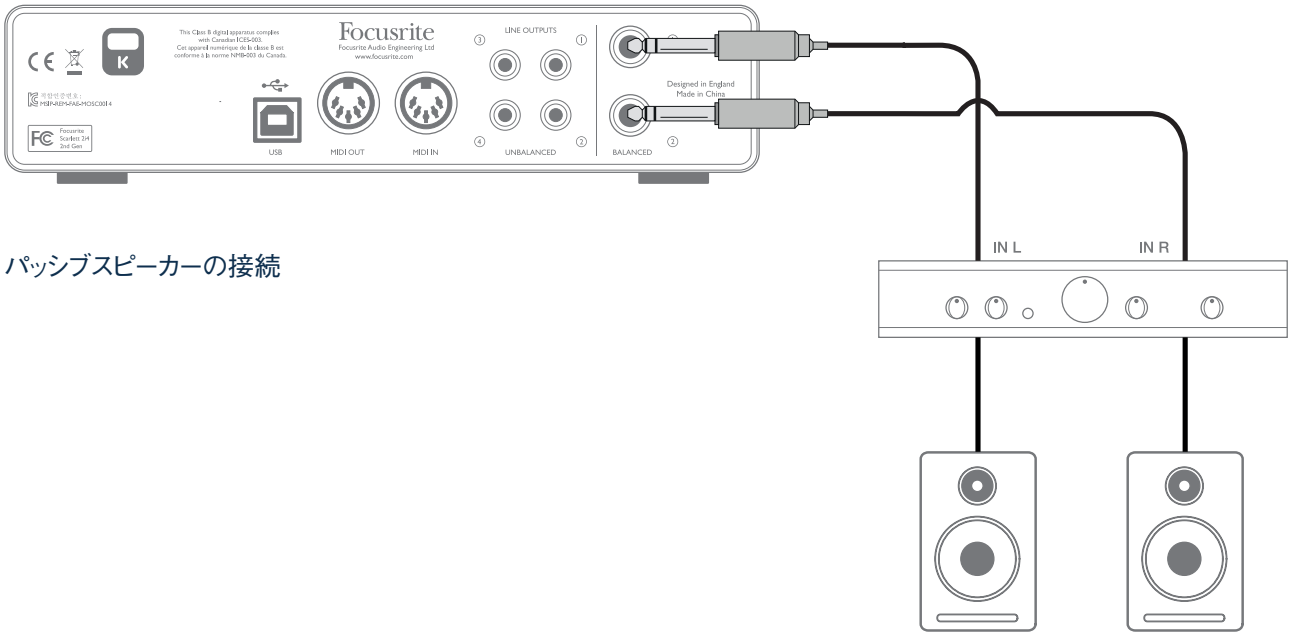
Scarlett 2i4 の出力はいずれも、モニタリングスピーカーの接続に使用できます。 出力チャンネル 1 および 2 は、¼インチ（6.35）3 極（TRS）ジャックにおける可変レベルのバランス信号およびフォノ（RCA）ソケットの可変レベルのアンバランス信号の両方において使用できます。Outputs 3 と 4 は、固定レベルのアンバランス信号のみ使用できます。また、フォノ（RCA）ソケットも使用できます。

Output 1 と 2 が使用されている場合、Output 3 と 4 はその他のレコーディング機器やモニターへの接続など、別の目的で使用できます。 ただし、Output 1 と 2 は、フロントパネルの **MONITOR** ボリュームコントロールによってのみ影響を受けるのでご注意ください。 Output 3 と 4 の信号は（完全に）固定レベルです。 そのため、これらの出力をモニタリングに使用する場合は、音源自体（DAW内）または外部アンプのボリュームを調整する必要があります。

アンプ内蔵型のモニタースピーカー（一般的なコンピュータースピーカーなど）は、内部アンプと音量コントロールが一緒に組み込まれているため、直接接続することが可能です。 大型のパッシブ・スピーカーには、別途ステレオアンプが必要です。この場合、本製品の出力部とアンプの入力部を接続する必要があります。



アクティブスピーカーの接続



パッシブスピーカーの接続

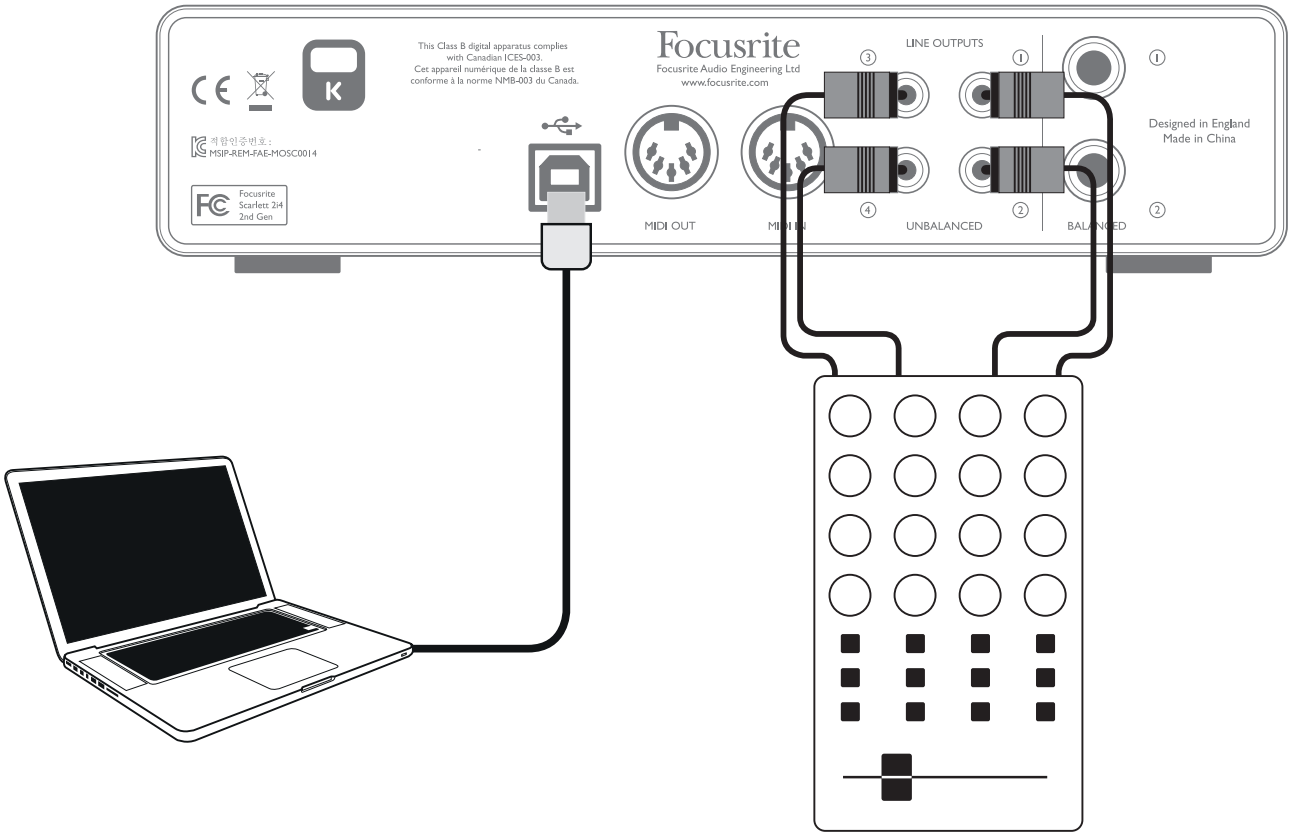
一般的な家庭用（Hi-Fi）アンプと小型パワードモニターには、フォノ（RCA）ソケットまたはコンピュータに直接接続するための 3.5mm 3 極ジャックプラグ経由のいずれかにアンバランス入力が備わっています。いずれの場合も、一端にフォノプラグの付いた適切な接続ケーブルを使用します。 ハイファイアンプおよびパワードモニターには、 独自のボリュームコントロールが備わっています。 これらを使用して、モニタリング音量を調整します。

プロフェッショナル用のアンプには一般的にバランス入力が備わっています（3 ピン XLR または 3 極（TRS）¼インチ（6.35mm）ジャックソケット）。これらをScarlett 2i4 の¼インチのジャック出力に接続することを強く推奨します。 バランス出力を使用する場合は、Scarlett 2i4 のフロントパネルからモニタリング音量を調整することができます。

注意：マイクと同時にラウドスピーカーがアクティブになっている場合、フィードバックループが生じる可能性があります。レコーディング中は必ずモニタリング用のスピーカーをオフにし（または音量を下げ）、オーバーダビング中はヘッドフォンを使用することを推奨します。

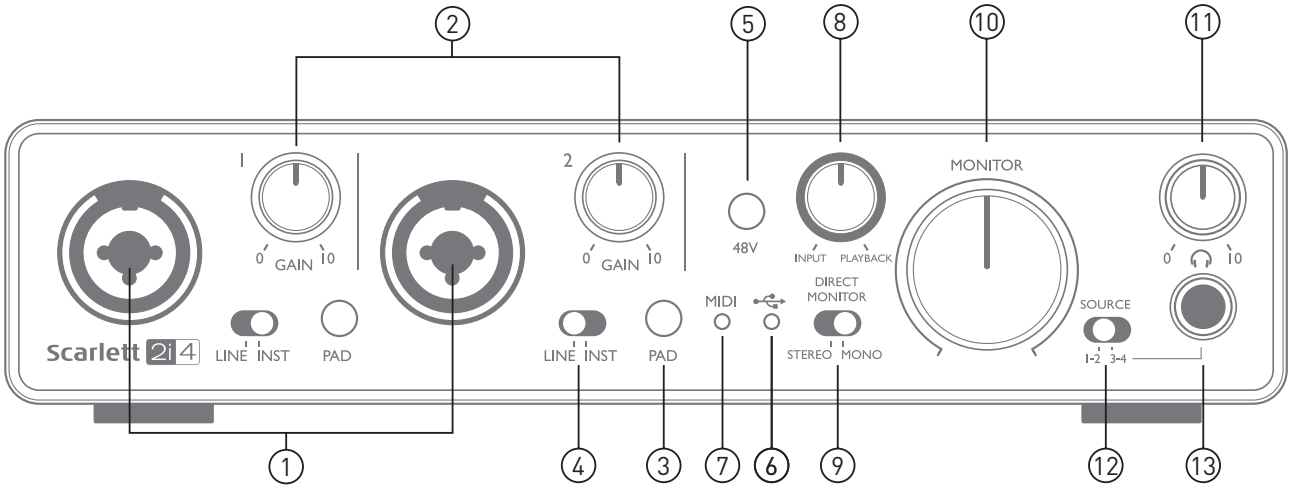
Scarlett 2i4 をDJミキサーに接続する

Scarlett 2i4 は、DJ ソフトウェアを使用するラップトップと DJ ミキサーのチャンネルを繋ぐ優れたインターフェースとなります。このセットアップでは、Output 1 と 2 が外部 DJ ミキサーのライン入力 1 およびに 2 へ、Output 3 と 4 がライン入力 3 と 4 に接続されています。このように接続することで、EQ およびクロスフェーディングなどのすべてのミキサー機能の操作が簡単に行えます。ただし、フロントパネルのモニターレベルコントロールを最大に設定する必要があります。設定されていない場合、Output 1 と 2 は、Output 3 と 4 より低いレベルになるのでご注意ください。



各部の名称と特徴

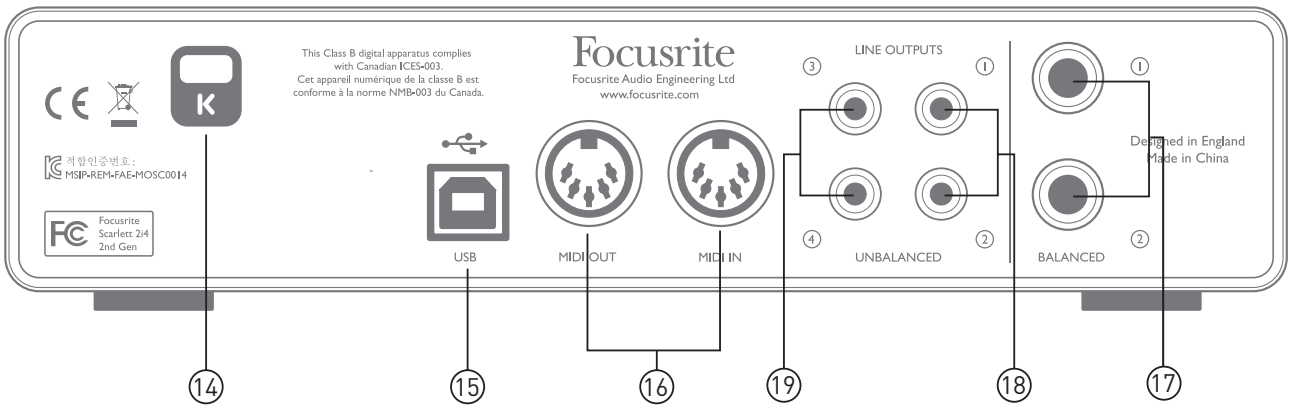
フロントパネル



フロントパネルには、Mic、Line およびインストゥルメント信号、入力ゲイン、モニタリングコントロールが備わっています。

1. Input 1 と 2 - コンボタイプ入力ソケット - 必要に応じて XLR または¼インチ（4.35mm）ジャックでマイク、インストゥルメント（ギターなど）またはラインレベル信号を接続します。
2. **Gain 1** および **Gain 2** – Input 1 と 2 のそれぞれの信号の入力ゲインを個別に調整します。 ゲインコントロールには、信号レベルを確認するための同心円状の 2 色のLEDリングが備わっています。 緑色は、最低-24dBFSの入力レベル（「信号あり」）を示します。 信号レベルが 0dBFSに達すると、リングが赤に変わります。
3. **PAD** – 各入力に対して 10dBパッドの役割を果たします。 ボタンを押すことで、入力の感度を下げることができます。 高いレベルの入力信号を供給する場合に使用します。
4. **LINE/INST** – 各入力の楽器/ラインレベルスイッチ – 楽器またはラインレベル信号に応じてゲインを切り替えます。
5. **48V** – マイク入力用のファンタム電源スイッチ - 両方のコンボコネクタの XLR 端子で 48V のファンタム電源を有効にできます。
6. USB LED – 本体に USB バスパワーが供給され、コンピュータ上で認識されると点灯します。
7. **MIDI** LED – MIDI IN ポートに MIDI データを受信している際に点灯します。
8. **DIRECT MONITOR** – ロータリーミックスコントロール。 モニターミックスでの、入力信号および DAW の再生のバランスを設定できます。
9. **STEREO/MONO** – モニタリングの際に、 入力をモノラルにまとめるかどうかを選択します。
10. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール - リアパネルのチャンネル 1 および 2 のバランス出力に接続された TRS および RCA（フォノ）コネクタの出力レベルを設定します。
11. ヘッドフォンレベル – フロントパネルのステレオヘッドフォン出力の出力レベルを調整します。
12. ヘッドフォン **SOURCE** – Output 1 と 2 または Output 3 と 4 のどちらをヘッドフォン出力に供給するかを選択できます（ステレオペア。 [9]の設定で変更可能）。
13. ヘッドフォンソケット – ¼インチ TRS 出力ジャック - お使いのステレオヘッドフォンを接続します。

リアパネル



14. **K**（ケンジントンセキュリティロック）– 希望に応じて、お使いの Scarlett 2i4 に適切なセキュリティ対策を施します。この機能の使用方法に関する詳細な情報は、http://www.kensington.com/kensington/us/us/s/1704/kensington-security-slot.aspxをご覧ください。
15. **USB 2.0** ポート – タイプ B コネクタ。付属のケーブルでお使いのコンピュータに接続します。
16. **MIDI IN** および **MIDI OUT** – キーボードまたは音源モジュールなどの外部 MIDI 機器の接続に使用する標準の 5 ピン DIN ソケット。Scarlett 2i4 は、DAW との間の MIDI インターフェースとして使用が可能です。これにより、コンピュータの MIDI カードが不要になります。
17. **LINE OUTPUT 1** と **2** –¼インチ（6.35mm）TRS ジャックソケット x 2。+10dBu出力レベル（可変）、バランス出力。¼インチ TRS（バランス接続）またはTS（アンバランス接続）ジャックプラグのいずれかを使用できます。
18. **LINE OUTPUT 1** と **2** – フォノ（RCA）ソケット x 2。+5.5dBuレベル（固定）、アンバランス出力。これらのソケットは常時、[17]と同じ信号を伝送します。
19. **LINE OUTPUT 3** と **4** – フォノ（RCA）ソケット x 2。+5.5dBuレベル（固定）、アンバランス出力。

仕様

性能仕様

マイク入力	
ダイナミックレンジ	106dB（A特性）
周波数特性	20Hz ～ 20kHz ± 0.1dB
THD+N	<0.002%（最小ゲイン、-1dBFS入力、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ）
ノイズ EIN	>-126dB（A特性）
最大入力レベル	+4dBu
ゲインレンジ	50dB
ライン入力	
ダイナミックレンジ	106dB（A特性）
周波数特性	20Hz ～ 20kHz、± 0.1dB
THD+N	<0.003%（最小ゲイン、-1dBFS入力、22Hz/22kHzバンドパスフィルタ使用）
最大入力レベル	+22dBu
ゲインレンジ	50dB
楽器入力	
ダイナミックレンジ	106dB（A特性）
周波数特性	20Hz ～ 20kHz、± 0.1dB
THD+N	<0.02%（最小ゲイン、-1dBFS入力、22Hz/22kHz バンドバスフィルタ）
最大入力レベル	+13dBu
ゲインレンジ	50dB
ラインおよびモニター出力	
ダイナミックレンジ（出力 1 ～ 2）	106dB（A特性）
ダイナミックレンジ（出力 3 ～ 4）	106dB（A特性）
最大出力レベル（0dBFS）バランスライン/TRS 出力	+10dBu
最大出力レベル（0dBFS）アンバランスライン/RCA 出力	+5.5dBu
THD+N出力（1 ～ 2）	<0.001%（最小ゲイン、-1dBFS入力、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ）
THD+N出力（3 ～ 4）	<0.008%（最小ゲイン、-1dBFS入力、22Hz/22kHz バンドパスフィルタ）

ヘッドフォン出力	
ダイナミックレンジ	106dB（A特性）
最大出力レベル（32 オーム）	> +7.8dBu
THD+N	<0.001%（最小ゲイン、-1dBFS入力、 22Hz/22kHz バンドパスフィルタ）

物理的特性と電気的特性

その他の入出力	
USB	USB 2.0 タイプ B コネクタ x 1
フロントパネルのインジケーター	
USB 電源	LED
ゲインコントロール	色で示す LED リング
重量および寸法	
幅 x 高さ x 奥行	210mm x 138mm x 47mm 8.27 インチ x 5.43 インチ x 1.85 インチ
重量	0.87kg 1.92 ポンド

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、次の Focusrite Answerbase のウェブサイトへアクセスしてください。https://support.focusrite.com/のURLからアクセスしてください。 非常に多くのトラブルシューティング例を扱った記事があります。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Scarlett 2i4 はFocusrite Audio Engineering Ltd.の商標です。

その他すべての商標および商品名は各所有者の財産です。
2016 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.